

同窓生だより



同窓会の運営に急遽携わることになったのは4年前で、発足5年を経た同窓会は今後の運営に問題・課題が山積していた。

そこで県のいきがい大学や熊谷・東松山のシルバー大学の実態を調べ、さらに市民大学の会員にアンケート調査をした結果、

などから、同窓会の方向性や進め方が見えてきた。

変化に対応し継続・推進する同窓会の進化・発展を期待します

同窓会活動の体制の明確化と役割分担、幹事会・役員会での協議による推進で態勢が出た。

同窓会活動の体制の明確化と役割分担、幹事会・役員会での協議による推進で態勢が出た。



関川忠彦氏 (2期生)

同窓会活動の体制構築と運営推進にご協力ありがとうございます

また、多くの人が幹事になって運営に参画

てきた。さらに会員への活動案内と情報通知により理解と協力が高まった。

のびのび元気で充実して同窓会活動をしている先輩たちを見て、「あの同窓会が有るから市民大学に入学した」などの声があれば嬉しい。

することから、同窓会を理解する会員も増えた。

特に部門別による各分担活動は定着した。とりわけ広報紙の発行とそのレベル、ホームページの開設と運用メリットなどはすばらしい。これらは、幹事、会員皆様の努力

と協力の成果と考えている。

高齢者会員がこの同窓会が、今後時代に対応して継続していくことを期待する。

風には風の道があり、水には水の道、人には人の道がある。祖母や父母から常に教えられた、人として生きる道でした。

連日ニュースを賑わす身勝手な父母や義父等の虐待、家庭の冷蔵庫に2年も閉じ込められた男児の遺体、風呂場で水を浴びせられ乍ら命

母のあり方

相原香保留氏 (8期生)



も劣るこの所為は、人間の仕業とは到底考えられませぬ。

「民主主義が父性を、個人主義が母性を失わせた」という人がいる。祖母や母達の実り少ない生活振りを

でもない、道徳が無くなった時、国は亡びる」と言います。女性が、そして母親が、「怒」の教えを悟り「天人」の如く「ならぬこと」はならぬ」を愛と厳しさを以って自分を律し、母親の役割を果たすことです。

思い起こせば、今の母親の環境は限りなく幸と思いが、受けた教育が本心に「望ましい母親」に繋がっていません。たてしうか。「国を亡ぼすのは戦争でも、天変地異

保護観察や、受刑者達との長い関係の中で、母親の役割が如何に重要であるか身を以って体験いたしました。

「子等の安らぎは母親の懐だけ」「待ったなし」です。

女性が周波数を合わせ、住みよい街になる事を念じます。

北武蔵に眠る地域の伝承、逸話を調べる旅

私たち市民大学9期生・歴史文化Aグループは、卒業後もグループ活動を継続し、正会員6名、準会員3名にて親睦を深めながら楽しく活動しております。

連絡手段にはグループLINEを活用し、それぞれがタイムリーな話題を提案しつづ、活動の中心は不定期に行う寺社巡り、史跡見学などを行っております。

城址の風

行田の城址といえば皆さん、もちろん忍城を思い浮かべますが、私たちのグループは忍城の戌亥(北西)を行ってまいります。

北武蔵に眠る地域の伝承、逸話を調べ現地に赴きながら旅を続けております。



「城址の風」のみなさん



クラブ活動紹介

行田への愛着と誇りを再認識する機会を提供

「行田検定研究会」は、第9期生・行田を調べるグループ6人を中心に発足しました。行田検定は、行田に関する歴史や文化を学び、ふるさと行田への愛着と誇りを再認識する機会を提供することを目的としています。

年度で8回目を迎えます。「行田検定研究会」の最初の活動として、小学5年生を対象とした「行田もの知り博士」、30問の問題作成を行いました。夏休みの宿題として出題することからタイムスケジュール的に厳しかったものの、なんと5月中旬に作成することが出来ました。出題の一つを紹介いたします。問〇〇 万葉集は平成に代わる年号「令和」の引用元になつていますが、行田市に

行田検定研究会

「行田もの知り博士」、一般用として「行田ふるさと検定」の名称で、平成24年度に第1回目の行田検定が実施され、令和元年

首で前玉神社、小崎沼、八幡山古墳公園の3ヶ所に歌碑があります。

問題作成に当たり「行田検定研究会」は現地調査を行い歌碑の確認を行うなど正確さの確保に努めました。写真はその一例で、小崎沼には「埼玉の小崎の沼に鴨ぞ翼きる己が尾にふりおける霜を掃ふとにあらし」と歌われています。



小崎沼

2019年4月13日(土)第5回上野村健康イベントノルディックウォークが開催されました。上野村からバス4台で送迎していただき、村人が畏で仕留めた鹿などを見ながらゴール。上野村食生活改善推進委員会からの「いのぶた汁」を食しながらの楽しい一日でした。

第5回上野村健康イベントノルディックウォーク

天気は快晴、桜満開の中、春風を受け気持ちの良い山道5km程のウォーキング。途中、2か所の休憩所



スタート地点の様子

受付を済ませ、各自ストックを借用して自分の身長に合わせて調整します。主催者側インストラクターによる歩行訓練を受けた後、黒澤村長の大会宣言がありました。

15時30分無事行田市保健センターに到着。楽しい一日はあつという間に過ぎました。このイベント参加を計画してくれたクラブ活動委員・塚田さんに感謝です。

道場信昌(4期生)

編集後記

今回で広報紙の発行も8号となりましたが、皆さまいかがでしょうか。投稿やご意見をいただければと願っています。

今後同窓会と共に発展できるよう編集メンバー一同、張りきっています。

茂木幸蔵

広報交流委員会 編集委員

- 茂木幸蔵 道場信昌
- 田村 勲 木暮 要
- 池田裕信 為ヶ井静民